



令和6年11月5日 地震津波避難訓練
(上の森保育園・分園のようす)

**命を守ろう！
後ろを振り返るな！
さあ走ろう！**

P 2 令和6年度 第3回 議会定例会報告

P 3 議案41号 各議員による質疑・討論

P 4-15 6月定例会 一般質問

P 16-18 第9回 議会報告会&意見交換会

P 19 議長活動報告・12月定例会日程・編集後期

P 20 ヒーロー・ヒロインインタビュー かしはらむく 柏原睦玖さん

ちゅぐとうそーけー
まちげーねーんさ

◎人の事を考えて行動すれば
間違いはない



タイトル「書」

森下区長
照屋 勤
てるや つとむ

令和6年 第3回 定例会（9月議会）

9月に開催された定例会は、9月9日（月）～27日（金）までの19日間の会期で開催しました。今回の定例会では、報告2件、議案10件（議案第41号～第50号）、認定5件（認定第1号～第5号）、決議1件が審議されました。今回は、決算審議ということもあり、認定5件においては、各委員会で慎重審議が行われました。

審議結果としては、議案41号・44号については、賛成多数にて可決。その他議案及び認定においては、全会一致にて可決となりました。

議案第44号 八重瀬町・与那原町学校給食センター協議会の設置について

議案「第44号」に関する議員の賛否

議決 結果	議 員 名											
	船谷 政喜	相羽 としえ	志村 幸司	新垣 真一	古堅 亮吉	諸見里 史子	我謝 孟範	上原 晃	松長 康二	山口 修	当真 聡	識名 盛紀
原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○

○（賛成） ×（反対） ▲（棄権）

※山口議員については採決の際に議場離席のため「棄権」▲扱いとなる。

議案第41号 与那原町民平和の日を定める条例の一部を改正する条例

改正の理由

第二次世界大戦における日本国内での地上戦に関する政府見解も踏まえ、本条例の一部を改正する。

概 要

第1条で、第二次世界大戦における地上戦について、沖縄戦が国内唯一としているところ、日本国内（領土）における地上戦は複数の地域において行われており、その見解が閣議決定（平成22年5月21日鳩山内閣）され、現在も引き継がれている。

沖縄戦は、多くの住民を巻き込み凄惨を極めた。この経験を風化させることなく次世代に継承し、世界の恒久平和を念願することが重要である。

現行

第二次世界大戦において国内で唯一地上戦が行われた沖縄戦の悲惨さや……

改正案

第二次世界大戦において多くの住民を巻き込む地上戦となった沖縄戦の悲惨さや……

Q なぜ今回条例の改正が行われたの？

A 町民からのご指摘があったんだよ！
歴史の見かたや考え方を色々調べて
今回、条例改正することになったんだ

議案41号に対し、各議員より 白熱した質疑・討論が行われる



質疑の様子については、You Tubeを見てね！
(令和6年第3回定例会本会議1日目を参照)

また、下記には、賛否一覧表及び条例変更への
賛否討論を記載しているよ。



賛成討論

当真 聡 議員

唯一という文言が閣議決定のなかで、事実
に反しているという見解から、今回の条例改正に
おいては理解をし、賛成はするが、改正の文言
自体が軽んじて受け取られる部分もある。

質疑において提案した「住民を巻き込む」と
いう部分を「沖縄県民」に変えるなど、執行部
が今回の各議員からの質疑を、今後再度検討
していただくというのを期待して、賛成者の立
場で討論とする。

識名 盛紀 議員

唯一であったかどうかと言う事であり、条文
事態は、戦争に対する悲惨さや住民を巻き込
んだ犠牲などの事実は変わることなく、今まで
の戦争の悲惨さを否定するわけではない。

少なからずとも、南樺太、千島列島、北方四
島に住んでいた住民も犠牲になっている。犠牲
になった数の問題ではなく、一人ひとりの命の
重さは変わらない。

また、唯一という文言が歴史的にも検証され
たとの答弁が課長、町長からあったが、今回の
条例文言が変更になっても戦争の悲惨さや、そ
れに対する趣旨は変わらないので、賛成者の
立場で討論とする。

反対討論

我謝 孟範 議員

戦後79年間これまで一貫して、唯一の地上
戦という事で沖縄県民誰もが使用していた文
言が、政府の見解、閣議決定によって沖縄戦
は唯一の地上戦ではなくなった。今回条例の
文言を変更することにより、教科書や政府の
広報機関にも影響があると考え。文言修正
は最低でも「全県民・全県土」が巻き込まれた
文言に直すべきだと考えるため、反対者の立
場で討論とする。

志村 幸司 議員

意見としては、当真議員に近い考えもある
が、今回急いで条例変更するべきではない。

課長や町長の答弁を確認したなかで、条例
変更を急務で求められているわけでもないの
で、まだ考える時間はある。今回この条例変更
にとりあえず賛成をし、その後から執行部側
が再度検討するとなると、なかなか進まない
という思いがあるので、今回の条例変更には
反対をし、改正文言については、再度検討を
重ねていただきたいので、反対の立場で討論
とする。

※討論につきましては一部抜粋となっています

議案「第41号」に関する議員の賛否

	議 員 名											
議決 結果	船谷 政喜	相羽 としえ	志村 幸司	新垣 真一	古堅 亮吉	諸見里 史子	我謝 孟範	上原 晃	松長 康二	山口 修	当真 聡	識名 盛紀
原案可決	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○

○(賛成) ×(反対)

※その他の議案名等については与那原町議会HP (<http://www.town.yonabaru.okinawa.jp/gikai/>) をご覧ください。

教育現場の労働環境適正化を

— 学校教育を守るために、教職員が疲弊しない仕組み作りを！ —



志村 幸司 議員

質問

公立の義務教育諸学校等の教職員の給与等に関する特別措置法において、教職員には調整額を払い残業代は支払われないが、現状は見合わない過重残業となっており、教職員の負担が極端に大きくなっている。働き方の見直し等対応について伺う。

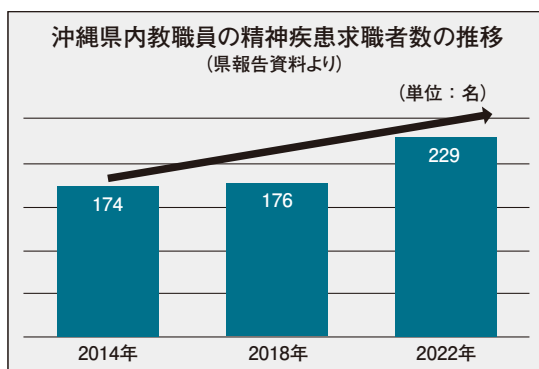
吉野学校教育課長

月残業80時間を超える残業を0へ、及び同45時間未満の残業者を80%以上にするという目標のもと、出退勤システムの導入や留守番電話の設置、閉庁日の導入などに取り組んでいる。

垣花教育長

やらなくていいことはどんどん止めていくという

考えになってきている。調整額は到底足りていないと思うが、業務を減らすなり、負担軽減に取り組むのが私たちの仕事と考えている。



過重労働により精神疾患が増加

保育園への支援強化を

質問

特別支援保育事業と障害児支援員配置事業の実施状況を伺う。また、障がい児保育は専門性が必要と思うが対応はどうか。土曜日保育はどのような状況か。

新里子育て支援課長

両事業に

については、町の判定会議で判断し支援を実施している。その中で、支援員配置事業の1日当たり6時間分の補助は県の規則に基づいているが、実際に足りていないかを事業者を確認していく。要支援児童については、職員同士で情報共有し、ひとりひとりの特性や傾向を理解した上で、健常児も含め健康で安全に園生活が送れるよう取り組んでいく。また、土曜日保育については、急に仕事になった場合などのイレギュラー対応を含め整理していきたい。

与那原大綱曳まつりの安全管理は適切か

質問

まつり会場の安全対策及び渋滞対策は、十分であったか。また、町全体への相乗効果はどう評価しているか。

桑江ブランド推進課長

安全対策は、会場を広く使う工夫としてステージ設置場所を変更し、出入り口の混雑防止でマリーナ

側のU字柵も撤去した。渋滞対策としては行先別案内及びチャシによる告知と、シャトルバスの運行を行い、昨年と比較し1時間早く渋滞解消ができた。シャトルバスは浦西駅、首里駅からの導線も今後検討できると考えている。また、相乗効果は、地域の経済活性化や住民の交流など様々な面で出ていると思うが、アンケート集計後に詳細を報告予定である。



渋滞緩和につながった行き先別表示

どうなる？国民健康保険証

— 住民に分かり易い説明と周知の考えは —



うえ はら あきら
上原晃 議員

質問

政府は、マイナンバーカードに健康保険証の機能を統合したマイナ保険証に一本化して、現行の保険証を廃止する方向へ進めている状況である。本町は今後の健康保険証の取り扱いをどう考えているか。

具志堅健康保険課長

国民健康保険法の改正により、令和6年12月2日より保険証の新規発行ができなくなる。令和6年発行の保険証は令和7年12月1日まで使用することができ、その期間内に70歳になる方は、自己負担割合の表示内容が変わるため切替が必要になる。令和6年12月2日以降に75歳になる方は後期高齢者医療制度への加入に

より、切り替えが必要となる。マイナ保険証との紐付けがない方は資格確認書が自宅へ郵送される。

質問

多くの町民から不安の声がある。周知方法等どう取り組むか。

具志堅健康保健課長

町の広報紙及びホームページ等で周知する。年齢到達に達する方に個別に変更案内を郵送し、窓口での確認と手続きなど個別に説明していきたい。

なぜ5m短くなった！
今年の大綱

質問

大綱曳まつり、来場者が約7千人、全体では2日間で約6万人が来場したが、大綱曳及びまつり会場等に何も問題ないか。

桑江ブランド推進課長

大きな問題はなかったと思う。しかし、まつり、綱曳、両方ともあらゆる面で改善点や、今後協議が必要な点はあるかと思うので、関係

機関や団体と今後も協議を重ねていきたい。

質問

毎年作られる大綱は、東西長さ45mと決まっている。今年は両方とも40mだったのが、なぜそうなったのか、当局は確認されたか。

桑江ブランド推進課長

その情報は、各区の綱作りの時点で、東西の係が話し合いを持って実行委員会で決めた事は聞いている。

質問

沖縄の米軍基地問題、米

止まらぬ米軍人軍属による重大犯罪

軍人軍属等による女性への性的暴力事件を町長はどのように考える。

照屋町長

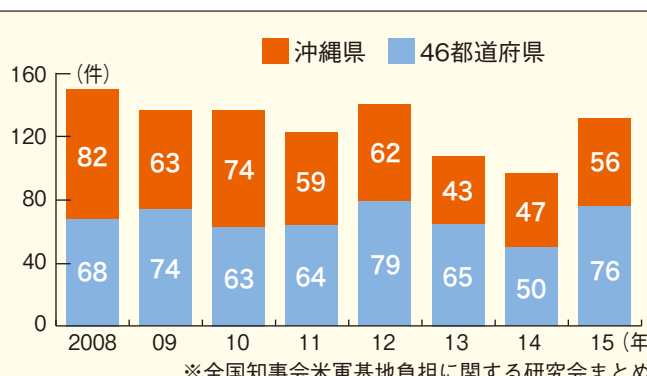
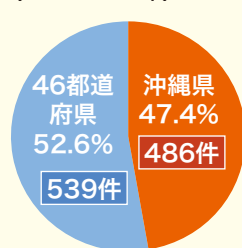
この問題の大きな所は、県への通報が3カ月以上も遅れたというようなことが大きな問題だったと思う。与那原町議会でも意見書、抗議決議書が全会一致で採択されており、私もまったく同感である。

提言

町長も普天間飛行場の辺

野古移設については基本的に反対の立場と答えているが、今後本町の平和について発信していただきたい。

沖縄県と他府県の累計数の比較 (2008～15年)



米軍人などによる犯罪摘発数の沖縄県と他府県の比較

人づくりこそまちづくり

— 教育現場・職場の環境改善を —



あい ば 相羽としえ 議員

質問 教職員の業務負担軽減の為に、水泳やダンス、プログラミングなど、専門的な授業は専門業者に委託することはできないか。

吉野学校教育課長 水泳は県から指導員を派遣、ダンスはPC端末を利用し主体的に学び活動している。プログラミングは、県総合教育センターと連携し、専門の職員指導のもと実践している。

提言 浦添市立神森小学校は、築50年のプールを再建するか、スイミングスクールに委託するか試算をした所、ほぼ同額だったことから委託を決定。安全性や水泳技術も向上し、教職員の

負担も減ったとのこと。参考にしてほしい。

質問 住民サービス向上と業務効率化の為に取り入れているDXだが、かえって役場職員の業務過多に繋がっていないか。

岡総務課長 安定的な運用、トラブル回避、情報提供などの為に来年度まで専門委託の予算を付けた。その評価を受け今後の方向性を見極めていきたい。

照屋町長 行政を進める上で必須。専門的な方を採用していく想定をしている。

質問 精神疾患などで休職している職員も多いと聞く。環境づくり、適切な人員配置はいかようになっているのか。

岡総務課長 職員にはメンタルヘルス研修、専門家による面談を実施。人事においては行政事務改善委員会が人員配置の検討も行っている。

提言 多くの企業で採用している360度評価システムで多面的に評価をする手法も活用してほしい。



介護施設グループホームとことんで防災のBCP(事業継続計画)作成のための机上シミュレーション訓練を行った

防災対策はシミュレーションが大事

質問 避難所指定箇所で、実際に避難者を受け入れるシミュレーションはされているのか。

金城生活環境安全課長 実績は無い。昨年8月の台風時や4月の津波で多くの避難者を受け入れたが、役場内の指揮系統の統一や受付の重要性を実感した。

質問 水・電気・ガスを使用しない防災キャンプを、小さなコミュニティ単位で実施できないか。

金城生活環境安全課長 地域の子供会やスポーツクラブ等の関係団体と連携し、実施に向けた支援ができないか検討していきたい。

東の拝所 阿知利世主に目印を



東の綱行列が出発する場所「史跡 阿知利世主」

質問 与那原大綱曳で、東の集合場所がわからない、トイレがないという声が多かったが。

桑江ブランド推進課長 看板の設置や中島区公民館のトイレの案内など検討していきたい。

質問 公民館のお手洗いも古い。改修などできないか。

岡総務課長 総務課予算の修繕補助金等々を活用する手法もある。

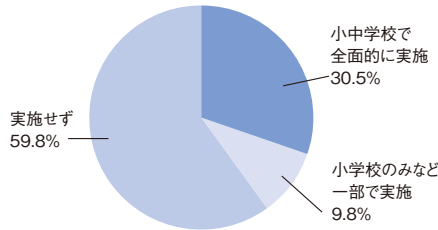
中学生の給食費無償化

— 町の支援で保護者の負担軽減へ! —



もろみざとふみこ
諸見里史子 議員

自治体の給食無償化の状況



※四捨五入のため合計100%にならない。
小中学校には特別支援学校などを含む
「文部科学省の2023年度調査」より

吉野学校教育課長 町の賄い費の負担金は9469万3500円。県補助として入ってくる見込みの額は1487万7500円。

質問 2025年から中学生の給食費を無償化した場合、1年間の町の負担金はいくらになるのか。

「シルバー生き生きライフサポート事業」とは…町内で支援を必要としている方々にボランティア会員が手伝っている事業。ごみ出し・買い物・草刈り・病院の付き添い等。



質問 認知症のため、ごみ出しルールが守れず困難を抱えている高齢者が増えている。町としてどのような支援を考えているか。

照屋福祉課長 「シルバー生き生きライフサポート事業」を社会福祉協議会へ委託し、ごみ出し支援を行っている。地域支援の推進員が、家庭訪問して相談を受けている。

町民福祉
どのように支援する

吉野学校教育課長 目標年度は2029年度の予定である。

質問 与那原小学校の校舎建て替えの考えの見解を伺う。

損等の賠償責任保険については、町でかけている全国町村会総合賠償保険制度に加入し、物損事故などに対応している。

吉野学校教育課長 児童生徒が授業などで学校管理下において怪我を負った場合の保険として、日本スポーツ振興センターの災害救済給付制度に加入している。また、教育活動時における物損等の賠償責任保険については、町でかけている全国町村会総合賠償保険制度に加入し、物損事故などに対応している。

質問 事故が発生した時の保険は。

仲宗根公施設課長 現地の状況と発生状況を確認し、防球ネットの設置を依頼した。

質問 中学校のテニスコートのフェンスが低く、ボールが町道沿いに飛び、事故が発生し危険な問題が起きている。町としてどのような対応をしているか。

学校施設の安全性、
町としての対応は



与那原中学校のテニスコートのフェンスが低く危険。早急に安全対策を

その他の質問

- 保育園年長児と沖縄女子短期大学保育科の交流会を
- 保育士不足による人材確保のため「与那原町保育士等就職奨励金事業」設置を
- 「介護脱毛」の必要性は
- 与那原小学校のプレハブ教室の負担軽減を

大型MICE事業なぜ入札不調に

— 戦略の見直し両町（西原・与那原）で県に要請を！ —



議員 紀盛名 識

質問 PFI事業の入札参加申請受付はどうなったか。

山城企画政策課長 今回の入札公募は、9月2日から18日までの間で入札参加する事業者は入札参加表明書等を提出する必要があったが、申込期限内に提出がなかったため入札不調になった事を確認している。

質問 戦略を見直すように両町で県に要請し、今後どうあるべきかは非主張してもらいたい。

照屋町長 今後沖縄がアジア・ゲートウェイ構想を考えたとき、今一度県に検証をさせて、西原町・与那原町でどのようなマリンタウンの魅力ある発信ができるか、西原町も含め、他の有識者の

皆さんの知恵も借りながら進めてまいりたい。

県はBブロックを町に売却せよ

質問 Bブロックと北側マリーナをMICEと切り離すことが与那原町のまちづくりにとってもベスト。是非その件を再度公募しては。

照屋町長 県知事にBブロックが今後MICEが再公募となっても、与那原町の構想に従っていただきたいという話を直接要請していく。

質問 21世紀ビジョンに示された東海岸地域の成長戦略をどう考えているか。



開発が進まない東浜Bブロック

照屋町長 県がサンライズベルト構想を打ち立てて、東海岸の市町村が連携し、活性化のために観光経済的な面からもしっかりと協議しながら取り組んでまいりたい。

財政健全化にどう取り組むか

質問 令和5年度の決算の指標は、一応黒字ではあるが安心できない。役場内の各課のコストを今後どのように下げていくか。

新垣財政課長 一番大切なことは、私たち職員の意識改革だと考えており、あらゆる事業について町長はじめ職員一人一人が常にコスト意識を持ち、新たな財源を生み出し住民サービスの維持向上につなげていければと考えている。

提言 予算は1円たりとも無駄にせず、町民の皆さんの福祉や生活の向上に役立てるものだという意識を常に持ちながら執行してもらいたい。

大型MICE施設整備に関連する主な経過

※令和6年11月時点

平成27年度
【沖縄県】
大型MICE施設が与那原町、西原町マリンタウン地区に整備が決定

平成28年度
【沖縄県】
大型MICE施設整備基本計画策定
【沖縄県】
マリンタウンMICEエリアまちづくりビジョン策定

平成29年度
【与那原町】
第4次総合計画等各種計画の一部改正

平成30年度
【沖縄県・与那原町・西原町】
マリンタウンMICEエリアまちづくりデザイン策定
【沖縄県】
一括交付金による整備を断念

令和元年度
【沖縄県】
マリンタウンMICEエリアの形成に向けたPPP導入可能性調査業務
【与那原町】
第5次与那原町総合計画の策定（重要施策への記載）

新たな施設も考えるべき

— MICE入札どの企業も手を挙げない理由は —



とう ま さとし
当 真 聡 議員

質問

MICEについては「ピストルは撃たれたから止まることはない！」と照屋副知事が明言していたが、もうすでに9月18日の時点で止まっている、これ以上指をくわえて待つのか。

照屋町長

県の説明によると

① コロナ後、旺盛な建設事業があった

② 働き方改革で週休2日になったり、ホテルやマンションなどの建設が増加した

③ 大阪万博もあり、タイミングが悪かった

以上の要因で入札がなかったと聞いている。県としても今一度精査をしたいとの議論で止まっている。

質問

2029年供用開始と町民、県民に明言している。県の責任感のない事業運営に対して、手をこまねいているべきではない。西原町とも協議して本当にこのままでいいのか、新たに町民の利益になるような施設はないのか、そのような考えを持つべきだと思うが。

照屋町長

議員が言うのももつともだと思う。私も様々なジレンマを感じながら町民の皆さまに2029年3月供用開始と伝えてきた。420億円という大きなプロジェクトなので県の検証内容を確認し、今までどおりのことをもう一度やると言うのなら納得しがたいと思うが、今一度県の説明を確認したい。

質問

検証することは悪い事ではないが、町長の責任として、現状を町民と議会に伝えなければいけないということを肝に銘じてもらいたい。我々議会としても西原町との協議の中で色々な提案をしたいがどう思うか。

照屋町長

当然議会として様々な考えを示してくれたら、私と

してもありがたい。それも聞きながら町民の皆さまにも伝え、今後の県での会議でも我々の思いを伝えていきたいと思う。



大型MICE施設予定地

本町出身県議に
期待するものは

質問

今回の県議会議員選挙で当選した本町出身の徳田県議に何を期待するか。

照屋町長

与那原の問題や課題について一緒に考え、県政の場ですっかり訴えていただきたい。MICEも含めた様々なインフラなど一緒に仕事ができる事を大いに期待する。

令和2年度

【沖縄県】
マリンタウンMICEエリア形成に向けた基本計画等検討業務
【沖縄県・与那原町】
マリンタウンMICEエリアに関する住民説明会

令和3年度

【沖縄県】
沖縄県マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務
【東海岸地域サリライズ推進協議会】
大型MICE施設基本計画の年内公表に関する要請行動実施

令和4年度

【沖縄県】
沖縄県マリンタウンMICEエリア形成事業基本計画策定

令和5年度

【沖縄県】
沖縄県マリンタウン国際会議・大型展示場整備運営等事業実施方針公表
【沖縄県・与那原町】
沖縄県マリンタウン国際会議・大型展示場整備住民説明会

令和6年度

【沖縄県】
沖縄県マリンタウン国際会議・大型展示場整備運営等事業入札公告開始
【沖縄県】
沖縄県マリンタウン国際会議・大型展示場整備運営等事業入札不調

与那原町として良い方向へ向かう施策

— 課題を解決する取り組みを早急に！ —



やまぐち おさむ
山口 修 議員

質問 本町の財政状況について本年度は何か課題に上がったのか。

新垣財政課長 懸念事項として3つある。

- ① 広域連携学校給食センター建設事業
- ② 与那原小学校建て替え事業
- ③ 人件費の増となっている。

質問 MICEに関連した事業で財政の変化はあったか否か。

新垣財政課長 現段階では本町財政への変化や影響は出ていない。

質問 与那原町として良い方向に向かうために、何か施策はあるのか。

新垣財政課長 各種業務の効率化や事業の取捨選択、人件費増大の抑制など、歳出経費の削減を図ること。常に財源についても意識する必要があると考えている。MICE施設に関連した町事業の導入や、町内民間企業の育成、企業誘致などにより町税を増やすことも必要。また、個人によるふるさと納税や企業版ふるさと納税のさらなる取り組みの強化で、自主財源の確保を図っていくことも重要だと考えている。

本町の障がい者施策

質問 本員は障がい者という立場になったが、現在、我が議会では障がい者施策に対するさまざまな施策というのが条例も含めてあまりない。これを議長の判断の下で事務局長をはじめ、いろいろな努力をされて先進事例を見ていただいている。本員を事例にしたいだけはないか。

照屋町長 今、山口議員がおつ

しやったことは、今回3年前に、この庁舎を建て替えた際に全てバリアフリーにしている。それから今後も公園、あるいは様々なところでユニバーサルデザインは必要になっていくと思う。それについては引き続き鋭意努力して参りたい。

ユニバーサルデザイン 7つの原則

公平性

だれでも使えて公平に手にいれられる

自由度

柔軟に使用できる

単純性

使い方が簡単にわかる

わかりやすさ

使う人に必要な情報が簡単に伝わる

安全性

間違えても重大な結果にならない

省体力

少ない力で効率的に、楽に使える

スペースの確保

使うときに適当な広さがある

「ユニバーサルデザイン」とは…年齢や性別、国籍、身体状況など、さまざまな個性や違いにかかわらず、誰もが利用しやすいようにデザイン

職員のメンタルケアはどうなっているのか

質問 教職員を含む役場全職員のメンタルによる休職者は何名で全体の何%になるか。

岡総務課長 本町教職員のメンタル不調による退職率は令和5年度においては、5・4%となっている。2点目の現時点でメンタルケアが必要な人は何名いるのかということについては、まず総論として申し上げるとメンタル不調というのは誰にでも起こり得る可能性がある。そういった意味ではメンタルケアは全員に対して必要なものであるというふうに考えている。そのため本町では復職後のフォローやメンタルフォローなども行っている。

職員がいきいきと働ける
気配りと援助を



町の観光ガイドと意見交換

— 本町の観光事業、更なる活性化を! —



ふな 谷 政 喜 議員

質問

歩く観光を目指しているが現在の状況はどのようなになっているか。活性化に向けて観光ガイドの方々との意見交換の場はあるか。

桑江ブランド推進課長

駅舎を

中心に観光施設を周遊するスタンプラリーを開催している。またガイドブックの印刷の編集や、要所所で観光ガイド代表の方との意見交換をしている。

提言

文化財の標識が古くなっていたり、与那原ナジから観光の申し込み件数が少ない。また、ガイドの高齢化等課題もあるようなので、もっと意見交換をお願いしたい。

質問

観光3本柱のひとつであ



与那原町の観光名所軽便与那原駅舎

る水路の活用はどのようなになっているか。平時の活用も含めて、企業への公募をかけてはどうか。

桑江ブランド推進課長

東浜水

路を会場とした「水辺のフェスタ・マルシェ」を開催してきたが、平時の活用について企業への公募等、検討したいと思う。

質問

知念高校海側の海岸通り

のネーミングについてどのようなになっているか。

桑江ブランド推進課長

ネーミ

ングについて公募をかけて、まちづくり推進協議会で検討した結果、「ていーだぬなー(太陽の庭)ロード」で決定した。今後、看板とフラッグの設置を予定している。

沖縄戦を風化させない平和学習の取り組み

質問

町民平和の日を定める条例の一部の条文変更があったことで、沖縄戦が風化するのではと心配する方々がいると思う。そこで小・中学校や町での平和学習の取り組みをお願いしたい。何度も質問しているが板良敷にあるトーチカも平和学習に取り入れてはどうか。

呉屋教育指導主事

戦争体験

者の話、平和記念資料館、詩や絵画、作文、放送読書、図書館の展示などの活動を通して平和への願いを表現している。

岡総務課長

役場1階町民ラ

ウンジでのパネル展、町内の戦跡めぐり、町民平和の日記念式典を行い、恒久平和に向けた反戦の意識の啓発に努めている。

与那嶺生涯学習振興課長

トー

チカは、ある程度制限もあり使用できるか検討してまいりたいと思う。

ゲートキーパー養成で自殺対策を!

質問

ゲートキーパー講座の日程は決まっているか。受講修了書の発行を行ってはどうか。

具志堅健康保険課長

講座日

程は12月3日に行う事になった。今回は県の事業での講座になるため、受講修了書の発行はできないが、今後与那原町が独自で事業を実施した際には受講修了書の発行は可能と思っている。

修学旅行費

一括請求の理由とは

質問

修学旅行での旅費は一括請求との事だが、理由を聞かせていただきたい。

垣花教育長

利息の付き方とかいろんな課題があったためだと認識している。数年前から告知はしているので、家庭の中で上手に積み立てていくようお願いしている。

障がい者への公的通知を支援

— 音声コードの導入を —



議員 新垣 真一 (しん がき しん いち)

質問 視覚障がい者の支援について本町の取り組みを伺う。

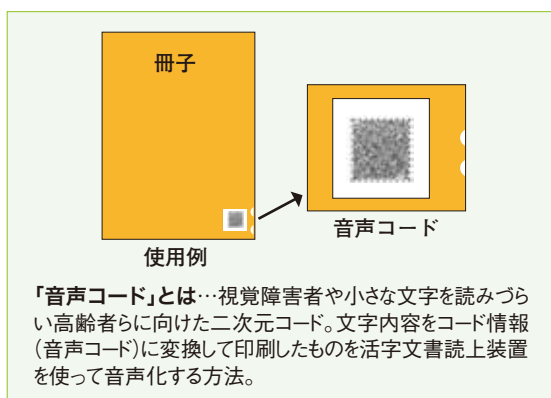
照屋福祉課長 障がい者総合支援法として居宅介護、同行介護、通所支援がある。また市町村のサービスとして地域生活支援事業、こちらは移動支援である。最後に補装具の支給として、盲人用の安全杖を障害者手帳保持者に給付している。

質問 自宅に届く郵便物には、給付金のお知らせやワクチン接種券、選挙の入場券など重要な封書がある。視覚障がい者は重要な封書だとわからず捨ててしまう可能性がある。障がいの有無に関係なく情報の取得や、その利用ができるよう、町民に送

付される公的な通知について、音声コードの導入ができないか伺いたい。

照屋福祉課長 音声コードの導入に向けては課内並びに庁内で調査し、費用対効果等も見ながら検討していきたい。

提言 他府県の自治体では、給付金や、ワクチン接種のお知らせに音声コードを活用している。そのほかにも希望する方には水道料金や納税通知書においても音声コードを活用している自治体があるが、是非本町でも前向きに検討していただきたい。



ユマニチュードの普及で認知症対策を

質問

認知症の人に寄り添うケア技法でユマニチュードというのがあり、全国でも注目されている。国内の研究結果でユマニチュードを実践したところ、認知症の方の行動や心理症状が15%ほど改善され、ケアする側の負担感も20%軽減したとの有効性が確認されている。福岡市では認知症対策としてこの技法を導入して、ユマニチュードの市民講座なども本格的に展開している。本町でも認知症のケア技法ユマニチュードの普及に積極的に取り組むべきだと思いが見解を伺う。

照屋福祉課長 福岡市では、病院並びに介護施設、家族介護者、一般市民、児童生徒、公務員など幅広い方々にユマニチュードの講習を行っている。本町でもこのような講習等ができるか課内で検討していきたい。

ユマニチュード4つの柱

① 見る



正面から水平に見ることで平等であること、近くで長くみることで、相手に親密さを伝える。

② 話す



大切に思っていることを伝えるために、ゆっくり、穏やかな言葉で話すことが安心につながる。

③ 触れる



触れる時は、相手の手をゆっくり下から支えることで優しさを伝える。

④ 立つ



1日20分立つ時間をつくることで、寝たきりを予防できる。歯磨きや着替えなどは立って行うなど。

「ユマニチュード」とは…「人間らしさを取り戻す」ことを意味するフランス語で、フランス発祥の認知症のケア技法。「人間らしさと優しさに基づいた認知症ケア」を表現する言葉である。

学校給食費無償化

— 沖縄県・与那原町で半額ずつ負担し実施へ！ —



が じゃ もう はん
我 謝 孟 範 議員

質問

6月の一般質問で、学校給食費無償化の質問に対して「検討する」との答弁だったが、対応策を伺いたい。

吉野学校教育課長

次年度から中学生のみ、沖縄県と与那原町で半額を出し合い実施する予定である。

質問

「教育費は無償化とする」と憲法でうたわれている。当然、国がやるべきことを沖縄振興予算が削られ、県財政が厳しい中の実施である。町長はどう捉えているか。

照屋町長

現状は中学生のみで、小学生の保護者からすると不満である。憲法にも義務教育費は無償とうたわれており、

昨今、大学、高校の授業料の無償化の声も出ている。将来すべての教育費の無償化の方向へ行くべきだと思っている。

生活道の整備を

質問

与那原地区内、与那原ベアーズ保育園前の町道は側溝が片側しかない。快適な住環境ではないため整備すべきでは。

饒平名まちづくり課長

側溝の役割は道路の雨水排水等、宅地から排水を受け河川へ導く構造



与那原ベアーズ保育園前の町道に両側溝で快適な環境を

になつているため、整備が望ましいと考えている。この箇所は約150メートルの距離があり予算をどうするか検討したい。

文化財の

周知と整備を

質問

与那原の子ども達に町の文化財の教育でどう扱われ、三津武嶽の周知はどのようにされているか。



与那原町にある史跡のひとつである「三津武嶽」

吉野学校教育課長

小学3年生を対象に社会科の授業として、主に綱曳資料館、軽便駅舎を見学、体験を指導している。先

生方も指導できるよう毎年、町内文化財、史跡めぐりを実施しているが、三津武嶽の周知は行っていない。今後検討したい。

沖縄戦をどう捉える

質問

町民平和の日を定める条例、国内で唯一の地上戦の記述が削除された。何故か、通達があったのか。

岡総務課長

町民から表記は誤りではないかの指摘があり、調査し確認したところ「樺太、硫黄島」で地上戦があり、閣議決定もされており、表現を改正した。

質問

1975年、日露、樺太、千島交換条約で樺太はロシア領になっている、硫黄島は東京から122キロ離れた孤島であり、こじつけではないか。どこからも指摘されないよう、全県民を巻き込んだ唯一の地上戦と記すべきではないか。

照屋町長

新たな条文で、多くの住民を巻き込む地上戦は思慮すべきだと思う。史実等を精査し改正を含め検討したい。

与那原大綱曳の歴史資料改正

— 資料や史書内容の見直しを！ —



議員 古堅亮吉
ふる げん あき よし

質問 資料や史書はあるのか。

与那原生涯学習振興課長 教

育委員会では、平成17年に作成しており、大綱曳の実態を、残す事を重点に、各係や部門のマニュアルづくりを中心に総合的な資料として発刊されている。

質問 教育委員会が発刊された

資料集とは別の本もあり、中身が違う部分や歴史的背景が詳しく書かれている物もある。現在と内容も異なり、そのままいいのか改めて作り直す必要があると思うが。

与那原生涯学習振興課長 発

刊から20年近く経っており、内容が様々変わってきている事も含め、大綱曳実行委員会、各関



与那原町教育委員会発行の「大綱曳の資料集」2005年3月

係者と意見交換を行いながら、新たな資料集の発刊の必要性を慎重に検討していきたい。

保育士不足を

どう考える

質問 現状はどうなっているか。

新里子育て支援課長 保育士

不足は深刻で、15名程度減少している。

質問 沖縄女子短期大学で、町

外の保育園はプレゼンをし、就職活動を積極的に行っているが、町内保育園も積極的にプレゼンやオープンキャンパスのような形でアピールする必要があると思うがどうか。

新里子育て支援課長 昨年度、

町内の保育所からも提案があり、沖縄女子短期大学に話をしたが、定期的に遅かったため実現できなかった。今年度は町内の保育施設を知ってもらうための取り組みを検討している。

保育士業務の
魅力向上で
保育士不足を改善!



学校教育の環境

質問 どのような現状か。

吉野学校教育課長 教職員の

勤務時間は、8時15分から16時45分までである。生徒の受け入れのため、自主的に早く出勤する先生もいる。中学校では、部活動を平日に2時間、土日は交代で1日3時間行っている。なお、水曜日は部活は行っていない。

質問 昔の教員は、部活指導で

業務が増え、残業しながら指導していたとの事だが、現在はICTを導入しても業務が減らず、負担が増えているように感じられる。この点に対してどのような考えか。

垣花教育長 文部科学省が教

育業務を3つに分類し、沖縄県教育庁が昨年、働き方改革推進課を設置して業務軽減の取り組みを進めている。業務の優先順位を考え、効率的な働き方をするための支援をしている。

保育の今後を本町はどう考える

— 保育士確保に向けた対策を —



まつなが こうじ 議員
松 長 二

質問

保育士確保が困難なことから、利用定員を割っていて、運営が厳しい状況の保育園が本町には何ヶ所かある。利用定員の見直しを図ることにより保育園の運営を助けるのもひとつの手段ではあるが、それにより待機児童が増える。しかし保育士がいなければ、子どもの受け入れは出来ず、園の運営は厳しくなっていく中で、今後を本町はどう考えているか。

新里子育て支援課長

保育士

確保については、今年度も保育士の修学資金貸付け事業を予算化している。今後も継続していく。また、保育士の掘り起こしのために、就学奨励金の新規事業

も実施できるように取り組んでいきたいと思う。

質問

保育士への支援事業は、各市町村によって異なる。やはり、保育士も自分の生活があるので条件が良い所で働きたい。就学奨励金の新規事業も実施してもらいたいが、宿舍借り上げ(家賃補助)事業も実施していただきたい。保育士確保には、園の努力も必要だが、そこに行政の手助けも必要。町長の考えは。

照屋町長

今後の保育を考える

上で、総合的に保育の在り方、あるいは援助、また国・県の補助メニューなど、これまでの経験者も含めたプロジェクトチームのような組織を立ち上げて、今後どのようにやっていくかという事を総合的に検討させてみたいというふうに思っている。

地元業者の活用を

質問

与那原町・八重瀬町で進めている広域での学校給食センター事業。運営管理費を除く、設

八重瀬町・与那原町 学校給食センター基本計画



敷地面積：約10,000㎡ 所有者：民有地

費用項目	概算金額(税込)	備考
設計費	約1億100万円	建築基本設計・建築実施設計・工事監理・各種申請業務(申請料含む)
本体工事費	約48億6,000万円	建築工事・電気設備工事・空調設備工事・機械設備工事・厨房設備工事・排水処理施設工事・浄化槽工事・その他
その他	約4,900万円	生ごみ処理機、事務用品
合計	約50億1,000万円	

※建設費用(概算)

提案

両町の地元業者が頑張れるよう、入札などにおいても加算方式などを本町から提案していただきたい。

その他の質問

◆スポーツツーリズム関連

① Park・PFIの飲食エリアには駐車場が足りない。陸上競技場を無くして、そこに飲食エリアや駐車場を作る方がよいのではないか。

② この事業が、この先町民へどう還元されるのか全く見えない。

③ 本町はこの事業に、今後どう関わっていくのか。

第9回 議会報告会&意見交換会開催

9月27日(金)の19時から上の森かなちホールにて「議会報告会&意見交換会」を開始しました。
町内外から総勢38名の参加があり、現状及び今後の与那原町がどうあってほしいのかを議論しました。

第1部 議案審議への質問と回答



Q.災害が増えている。東浜などは津波が来たら大変になる。支援が必要な障がい者お年寄りなどの情報が必要になるが、個人情報であり情報を出すのは困難だと思う。民生委員など限定した範囲で情報共有をして早急の行動が出来る体制づくりが必要。現在はどういった範囲まで情報提供されているか。

A.要避難支援者の承諾を得て、個別避難計画を立てるなどが条例に盛り込まれている。

A.個人情報の管理については、「知り得た情報を漏らしてはならない」ということも制定されている。



Q.民生委員と福祉課で要避難支援者の対応について会議を開いてきたが、対象者からの個人情報提供の承諾がなかなか得られないため、名簿は作り切れていないと思う。でも必要なので、民生委員より力のある行政に、個人情報提供の要請に動いて欲しい。

Q.ひとりも犠牲を出さないことが大事で、本人が断っても放っておくわけにはいかない。防災士などが速やかに動ける体制が必要だと思う。

A.しっかり行政に伝える。



Q.与那原町家庭的保育事業等とはどういう意味か。

A.待機児童対策の中で、保育園に入れない0歳児から1～2歳児を5名限度に預かり自宅などを使って運営している事業者のことを指している。



Q.会計年度職員について、正職員に任用する制度がないのか。

A.議会は条例等中身については審議するが、行政の仕組みであるため議会としてお答えするのは難しい。行政にはしっかり伝える。



Q.職員定数条例の一部改正について、何名が何名になったのか。職員が増えると将来的に財政が厳しくなってくるが、どう議論したのか。

A.114名から128名に増やす内容。委員会の中で行政の意見聞き取りを行ったが、仕事が回らずやるべきサービスが滞っている状況であることへの対応。サービス維持のため人員増という対応が必要になるが、働き方改革等やシステム化の推進により集約されていくということを委員で話合った。

A.人件費が一番懸念されるが、行政サービスはどうしても必要。ICT化を進めているがそれでも人手が足りないのが現状であり、最低限これだけは必要だということで可決した。



Q.ブランド推進課設置の議案について賛成多数になった経緯を知りたい。

A.観光商工課の名称がなくなり馴染みのないブランド推進課に変えるにはもう少し議論が必要で、時期尚早ではないか、町民目線で考えるべきではないかとの考えて賛否が分かれた。

A.委員会でも、多数の意見が出たが、議論を経て最終的に我謝議員のみ反対で賛成多数となった。

A.名称としては、与那原を付け与那原ブランド推進課が良いのではないかなどの意見もあったが、最終的にこの名称で可決された。



町内外から
38名が参加

与那原の将来について語る



Q.360度3Dシアターを購入しているが予算はいくらだったのか。

A.契約金額は税込みで1957万1200円。条件付きの一般入札方式で決まった。



Q.いじめ問題対策の条例について、一部を改正するということだが、その一部について内容を知りたい。

A.規定に基づき与那原町いじめ問題専門委員会を置くという文言の、規定に基づいた後に「必要があると認められる時は」という文言を加えた。



Q.港区のコミュニティーセンターの指定管理について、変更した理由について聞きたい。

Q.水道会計事業の決算に伴う剰余金の処分について、その儲けをどう配分しているのか。

A.港区の指定管理について、町から区の方をお願いをしている。条例上、定められた契約期間が切れると新たに契約を交わし直すか、企業と交わすことはない。

A.水道会計の剰余金について、剰余金は一般的に利益を指すが、事業継続のための基金として積み立てている。議会としても必要と考え可決している。

第1部 陳情審議への質問及び回答



Q.趣旨採択と採択の違いを知りたい。採択された陳情はその後どうなるのか。

A.採択は全てを可とすることであり、陳情と一緒に意見書が付いてきた場合は、意見書を相手先に送付する。趣旨採択は、その趣旨は理解するが意見書を送るまでは至っていないと判断した場合に行う。

A.全体の趣旨は理解できるが一部が不足しているという場合にも趣旨採択となる可能性がある。



Q.健康上の理由で学校に行けない子どもの学ぶ権利を保障する内容だが、なぜ不採択としたのか。中身が問題だったのか。

A.ワクチン接種をした子どもが摂取していない子どもに影響するため、学ぶ場所を分けて欲しいとの内容だったが、ワクチンを打つ打たないは自由である。親の考え方の違いであり正しいとも間違いとも言えないため、継続審議をしてきたが最終的には認めるのはどうかという声も出て反対多数で不採択となった。



Q.請願と陳情の違いについても聞きたい。

A.請願書は議員が加わって提出するもので、陳情書は各々団体のみで出す。請願書は法的拘束があり、陳情書は議会内で処理をしていく。



Q.不採択となった理由は分かったが、学ぶ権利は何らかの方法で守るべきである。行政と話し合い、何か出来ることはないかを考えるべきと思うが。歩み寄りはないのか。

A.まだ確定した事項はないが、行政も個別で対応出来るのではないかと考え、話し合いを進めている。

第2部 意見交換会



Q.議員は普段どのような活動をしているのか

A.議員の役割は2つあり、1つ目は行政が立てた施策について、内容や予算が妥当かどうかを審議すること。2つ目は町民の声を行政に届けることである。

A.町民の意見を聞き一般質問で取り上げ、町民が豊かになるように動くのが議員。朝の立哨や見守り活動をしている議員もいる。町民のためやるのが議員だと思う。



Q.昨年の3名参加からこれだけの人数に増えたことは素晴らしいと思うが要因は。

Q.ヒーローヒロインインタビューは議会ではなく教育委員会の仕事ではないか。議員個人の活動を掲載した方が町民に議員への理解が深まると思うが。

Q.議場も、議員全員の顔が見えるように逆にしてはどうか。

A.昨年3名の参加であったことを反省し、参加者からの意見を活かし周知活動に力を入れた。区長に案内放送を流して頂いたり、大型掲示板を活用したり、LINEで発信したり、各種団体に案内文を送ったことでこの人数となった。

A.ヒーローヒロインインタビューについては、議会だよりにそぐわないと感じている人も多いと思うが、多くの方に読んで貰うために、全国的には町民の声を載せるなどの取り組みも見られ、身近な人が載ることで興味を持ち、年配の方から若い方まで読む方が増えるのではないかと考え採用した。町議会としての取り組みを載せるのが議会だよりで、議員個人の取り組みはそれぞれの方法で報告すべきと広報委員会としては考えている。

A.議場は新築したばかりなので今は難しいが、今後の参考にしていきたい。

参加者アンケート集計結果

(参加者38名、アンケート回答者18名)回答率47%

- ①性別／男性12名、女性6名)
- ②年齢／10～40代なし、50代3名、60代3名、70代10名
- ③居住区／江口2名、与那原3名、上与那原2名、当添1名、東浜4名、板敷数1名、浜田3名、森下2名
- ④知ったきっかけ／ライン8名、デジタル看板0名、区内放送7名、その他3名
- ⑤参加しやすい日／平日昼0名、平日夜12名、休日昼0名、休日夜4名
- ⑥意見&要望
1. みんな傍聴に来て欲しい。町民が見に来ることによって行政も議会も緊迫感が生まれるのではないかと。また、傍聴の呼び掛けは各種団体にやっているか
2. 議会報告会は年1回では少ないのではと思った。町民と議



Q.意見を聞くだけでなく実現するためにしっかり行政に意見を届けて欲しい。また沢山の町民の皆さんに議会を傍聴して頂きたいと思っている。

A.しっかり行政に声を届けるので、各議員に声をお聞かせ頂きたい。



Q.MICEは2029年供用開始と発表されたのに、手を挙げていた大手ゼネコンが手を引き、応募者がいないまま募集も締め切られた。この先いったいどうなるのか。町民はとても不安に思っているはず。議員として考えていることがあるか。

A.どうしても採算が取れないということで大手ゼネコンが辞退した。県は今後検討委員会を開くことになっているが、どうなるかはわからない状況。最低でも2年は遅れると思う。採算の取れるPFI事業にしないといけない。商業施設などを併設しない限りホテルは来ない。与那原町としてはBブロックをMICEの計画から切り離し、与那原町に売って頂きたい。もともとその約束であったが県が応じてくれない状況。今後町としてBブロックを購入可能か話をする事になっている。西海岸は様々な計画が進んでおり東海岸は正念場と言える状況。議会としても行政に言うべき事はしっかり言う。町長は知事と腹を割って話し合っていたきたい。



Q.中学を卒業して学校も行かない、仕事にも就かない。どこにも行く場所がなく引きこもる。与那原にはそういった18歳未満の子ども達への受け皿がない。対応が必要だと思うが、議員の皆さんは相談を受けたことがあるか。または、居場所が必要という考えはあるか。

A.対象者の将来を見据え宿舎付きの学校について調べ、情報提供を行ったが与那原町には対応する援助金制度等がなかったこともあり他地域のグループホームに通うことになった。うるま市や那覇市、浦添市などは就職するために資格を取る宿舎付き学校へ通うことに援助金を出しているが、与那原町にはその制度がないため同様の支援が可能か、今後検討する必要がある。

- 員の距離がもっと近くなるといいなと感じた。知人から話を聞くのではなく、声を出せない人にも耳を傾けて欲しい
3. 議案や陳情を簡単でいいので分かりやすく作って欲しい
 4. 議会をSNS等で視聴する方法はないか
 5. 住民が影響を受ける議案のみを重点的に報告するのもあり
 6. 親川の石畳みの通りがもったいない。活性化を考えては
 7. 議案に対して1行ずつぐらいでいいので、何が変わったかの説明をいれてみたらどうか
 8. 町民と行政をつなぐパイプ役としてこれからの活躍を期待する
 9. 報告会をなくして意見交換会の時間を増やしてはどうか
 10. 危機感を感じなかった

議長活動報告

(令和6年9月～令和6年10月) ※議長の主な日程を抜粋して掲載しております。



【9月】

11日・与那原町陸上競技大会開会式
2日・南部振興会 第4回理事会
5日・議案説明会・主要事業説明
28日・与那原大綱曳まつり図画
作文コンクール表彰式

30日・八重瀬町・与那原町学校給食センター協議会
設置に関する協議書調印式

【10月】

6日・島尻郡陸上競技大会 開会式

7日・沖縄県町村議会議長会 定例理事会
・沖縄県町村議会議長会 定例総会
8日・海外友好親善大使人材育成事業研修会修了式
及び報告会
9日・町村議会議員・事務局職員研修会／交流会
12日・当添祭り
18日・横断者注意喚起灯の供用開始式
19日・町文化協会主催「文化祭」オープニングセレモニー
・金武町大綱曳
29日・南部振興会 第5回理事会

議会と意見交換できるんです

※議会と意見交換したい方は申し込みが必要です

日頃生活をしている中で「これ何とかならないかな?」とか「こうしてほしい」など、さまざまな課題が出てくると思います。町長を始め、役場職員、町議会議員でもなかなか気づかないこともあります。皆様が気づいたことを議会や行政に届け、住みやすい安心・安全なまちづくりをしていきましょう。

これ何とかならない?



こうしてほしいな

↓そこで…あなたの意見を届けよう↓

一般会議をしませんか!?

※「一般会議」とは「与那原町に関する課題」について、町民の皆様が直接声を届けられる会議です。あなたと議会が直接意見交換ができます。議会と意見交換したい方は**参加申し込み**が必要です。詳細は下記「議会事務局」へお問い合わせください。

お問い合わせ

議会事務局 ☎945-5775



12月の定例議会は…

予定 9日(月)～13日(金) 一般質問▶11日(水)・12日(木)・13日(金)

定例会は6月、9月、12月、3月に開会しています。(10時から)

町民の皆さん、まずは足を運びましょう!

議会日程は議会ホームページ <http://www.town.yonabaru.okinawa.jp/gikai/>
または「議会事務局 ☎945-5775」へお問い合わせください

You Tube でも傍聴できるよ～!



〔お詫び〕議会だより142号「ヒーロー・ヒロインインタビュー」で、名前の表記に誤りがありました。

(誤)「金城颯助さん」→(正)「金城颯佑さん」訂正してお詫び申し上げます。

町民の皆さんこんにちは。2024年も12月を残すのみとなりました。今年が良い1年だったと言えるように、最後の1か月を有益に過ごして頂ければ幸いです。

地震や大雨による災害が続く日本、いまだ回復途上である被災地の皆さんに心よりお見舞い申し上げます。

今年4月には、台湾付近で起きた地震により我が町にも被災の危機が迫りました。津波到達まで時間があつたことも影響してか、車で避難する方が多く大渋滞が発生。大きな課題を確認する1日となりました。その中で、子ども達の通学施設、企業などの素早く的確な避難も見られ、訓練を含め備えることの重要性を学びました。

最後になりますが、多忙な12月を健康に留意してお過ごし下さい。



議会広報常任委員会
委員 志村 幸司

編集後記

ヒーロー・ヒロインインタビュー

The Rev Saxophone Quartet
コンサート共演

沖縄県立那覇高等学校2年 ^{かし はら む く} 柏原 睦玖さん

今回紹介するヒーロー・ヒロインは、東浜在住の柏原睦玖さん。

The Rev Saxophone Quartet(ザ レヴ サクソフォン カルテット)の「プロデュース企画2024」オーディションに合格し、1月に東京で行われるレヴとのコンサートでの共演を目指し、現在レッスンに取り組んでいます。また、板良敷青年会でのエイサーや青年会活動をはじめ、趣味のスケートボードなど、今後の与那原町を担う人材として紹介します。



Q サックス(楽器)を始めたきっかけは

祖父がドラマー、父が吹奏楽経験者、姉が吹奏楽、マーチングをしていて小さい頃からたくさんの音楽に触れていたため、自分も何か楽器をやってみたいと思い、与那原中学校吹奏楽部へ体験に行きました。そこでサックスに出会い、金色に輝く見た目や先輩の優しい指導に惹かれ始めました。

Q オーディションを受けたきっかけ及び、合格した時の感想は

私の憧れのプレイヤーである上野耕平さんにレッスンを受けられると知って、最初は躊躇していましたが、野原シーサー朝宇先生に背中を押していただきオーディションに挑戦しました。合格した時は、最初は信じられませんでした。だんだんと実感が湧き大喜びで日頃お世話になっている先生や家族、友達に連絡したのを覚えています。また、嬉しくも1月の本番をたくさんの人の前で演奏することを想像すると少し緊張や不安がよぎりました。

Q レッスンを受けての感想は(楽しいこと・辛いこと等)

憧れのプレイヤーの生音を目の前で聴くことができ、とても感動しています。また、4人の違った視点からのご指導を受け、自分の中の音楽性や自由度が広がっていくことがとても嬉しいです。自分の課題がどんどん浮き彫りになり、改善しなければいけない点の多さにキャパオーバーになりそうになりますがしっかりとひとつずつ地道にこなしていくことで自分の成長を噛み締めています。

Q 今後の目標は

私は将来、トッププロサックスプレイヤーとなり色々なジャンルの音楽を最高水準の演奏で皆さんにお届けできるようになりたいです。

Q 与那原町への希望・要望は

- 音楽をしやすい環境を作るため学生でも気軽に練習できる場所を定価で提供してほしい。(部活がない日に練習することができないため)(ホール練習も気軽にできるように)
- より地元の子が音楽に触れられるよう定期的にブロのプレイヤーを呼んで演奏会、講習会を開催してほしい。
- 与那原中学校にある楽器は使い古されており、良い音が鳴りにくいため新しい楽器にしてほしい(ある程度良い楽器を買わないと、良い音が鳴らない)。また、楽器には大きな個体差があるため選定品を買ってほしい。
- 県外などの大会出場にあたって町からの助成金の増額。

Q 与那原町で音楽を頑張っている子ども達へ一言

自分の音楽性を高めるために、演奏会に行ったり音源を聞いたりしてたくさんの音楽に触れてほしい。練習は量も必要ですが、質を大切に意味のある練習を心がけて行なってほしい。憧れのプレイヤーを見つけ、出したい音のイメージをより明確にして日々練習してほしい。共に音楽をする仲間を見つけて、楽しんで音楽をしてほしい。

「The Rev Saxophone Quartet」とは…東京藝術大学卒の4人で構成され、全国各地でリサイタルやアウトリーチ活動など、様々な演奏活動を行うサクソフォンカルテット

コンサートに向けたレッスンの様子を動画で見ることができます↑

